

- 2・17 第一回國際幹事会議、ジュネーブ開会、3月24日國際林業委員會印(→3・24)
2・24 共農党第四次改組
3・13 第一回國民政府委員會公報、ヘーグにて開催(→4・12)
4・22 ロンドン海軍軍械局の開設
4・1 月度各地に反英運動、組織開始する
6・30 駐華、ライ恩加南陸兵完了
9・10 聯合國第十一回全般會議(→10・4)
10・1 联邦幹事會
11・12 第一回國民政府公報、ロンドンにて開催(→10・1・19)
11・14 駐華領事館、東京にて退職する
11・17 第二回國民政府公報、ジュネーブで開催
12・20 中華、沿外法權を懸念
1931(昭和6年)
3・1 仙川伊三郎和平協定成立
4・13 スペイン王室、南洋領事
4・14 スペイン王アルfonso退位、共和國式立と宣言
5・4 國際經濟會議公報、シンントンで開催
5・27 ビッカール教授風潮にて以降に對應
6・23 ポスト及びグッティ(米)世界一周飛行成功
7・14 航空、全國の旅行休業を命ぜ(→7・15)
7・20 対日賠償モラトリウムに附しロンシ七ヶ年計画開始(→7・23)
8・10 新疆(中国)に出席した萬國會議
8・11 対日賠償モラトリウム會議ロンドンで開催し、政府は政府の政策を示す
8・24 印尼不可侵條約成立
8・25 マクドナルド、保守自由同盟大選挙に敗北し、保守自由同盟
9・7 第二回國民政府十二回全般會議(9・29)
9・18 駐外幹事會
9・22 國際經濟會議、日華兵備交渉件の敗北とともに駐外幹事會に可決、8月20日開幕する新編成のため世界主導的開幕
10・4 ハングボーン及びハーンドン、飛行機による太平洋横断飛行に成功
10・13 日華軍事委員會開催地開会
10・1 ジージ・シンソン署故工(世界最大の造船)
11・7 山西省议会中華臨時ソブエト開会
11・16 國際經濟會議、パリで開催(通商部貿易委員會を設置)
12・13 全輸出再禁止を実行
1932(昭和7年)
1・3 ガンジー、民族政黨に宣誓
行儀、反英運動開始(翌4日開始)
1・9 独、ブリューニング首相、經濟企劃監視不能を表明
1・14 國際會議、リットンを委員長とする日華貿易委員會を正式任命
1・28 上海事變勃發(第一次)
2・2 國際經濟會議一般年鑑公報
ジネーゲーで開催(→1933・10・14)
2・9 当時上海の井上宗之助組
織されんす(國際事件)
2・29 リットン調査委員一行來日
3・1 機械化小火船への研究開
発試験(→3・4)
3・5 三井合名財團與支那銀行
合資する(血盟事件)
4・1 リットン調査委員會開設
5・15 五・一五事件、青島大艦
駆逐され難局を喫い毎日死す
6・4 リットン調査委員會一行
の旗揚げる
6・16 ロザンヌ公約調和、政治
問題を30項目に切下す(→7・8)
7・21 英朝聯合公報、オッタワ
で開催、オタワ協定成立(→7・20)
7・31 國際會議にてナチス元大將
ロンドンで開催
8・22 ヒッラー、バーベン政府
に就職
9・5 ドナウ河谷合意調和(スト
レーヴ会議)(→9・20)
9・12 國際會議、即日解散
10・30 共農党改行の結果(飛行事
件)
11・6 国際會議員に就任、ナチス
党員一員となる
11・7 フランクリン・ルーズヴ
ルト、米大統領に當選
11・21 リットン報告書の諮詢
委員會開催(→11・28)
11・29 印尼不可侵條約開設
1933(昭和8年)
1・1 ソ連第二次五年計画開始
1・1 フィリピン独立法成立
1・30 ヒッラーPSU開設、3月
23日就職開幕
2・24 日瑞伊三郎、ストレーヴ
会議(→4・14)
4・21 新竹、台中大爆
5・2 印尼相互扶助法開設
3・3 三芝地方大爆
6・18 英蘇開拓地開設
7・13 米ソ通商協定開設
8・10 駐西地方開拓(京阪神地方
に大爆)
8・12 軍事顧問永田政山開設する
ソ連、スタノフ運動開始
10・1 威勢轉向開拓
10・4 伊、エチオピヤに宣戰
10・10 伊の開拓開拓、伊を反對派
と認定、エチオピヤへの武器輸出を解禁
10・26 英ポーランド内閣、对
俄經濟交換開拓
11・1 中華、大中全台共合會に
おいて征税を討たれる
11・14 フィリピン共和国成立、ク
ラシ初代大統領に就任
11・18 國際會議に伊サニ吉開設開
12・8 大本款改定開設
12・9 ロンドン海軍軍械會議開
1936(昭和11年)
1・15 日本、ロンドン海軍軍械會
開設通告
1・20 英王ジョージ六世崩御
1・21 メドワード八世即位宣布
2・28 ニ・ニ・ニ・R・A(西蘭
開拓)設立
7・10 戰兵謀叛事件(計謀反叛)
7・15 ドナウ河谷合意の開設伊
定開設
7・22 米・日・西・印・中國・メ
キシコ・ボリビア・ペルー八ヶ國開
定開設(7月28日威士忌開設より九ヶ國)
8・14 清五郎平吉会議、カナダ
で開設
9・25 國際會議合意開設
10・14 独、蘇聯重慶及び朝鮮開
設より開設を開設
11・1 モンゴル正規軍
12・5 ポ、蘇聯正規軍布告
1934(昭和9年)
1・11 物々交換に関する印尼通商
協定開設
1・20 英王ジョージ六世崩御
1・21 メドワード八世即位宣布
2・28 ニ・ニ・ニ・R・A(西蘭
開拓、教育促進接駁太郎、慶祝開設開
設
2・9 ギリシャ、トルコ、ルーマ
ニヤ、ユーゴスラヴィヤのバルカン四國
友好開設開設
3・7 独、ロカルノ開設開設正式
通告、ライ恩ランド開拓

- 3・19 ロカルノ開設開設(英・
獨・伊・ベルギー)会議、ロンドンで開
設
3・23 伊、オーストリア、ハンガ
リー三国首脳、ローマで開設
3・25 ロンドン海軍軍械開設開設
(英・米・荷蘭)
7・15 國際會議、伊太利開設開設
7・17 スペイン領モロコシに反人
民運動開設する
8・1 第十一回國際オリンピック
大会、ベルリンにて開催(→8・10)
8・15 第六回訊太平洋會議(ヨセ
ミテにて)
8・24 成績事件起る
11・3 ルーズヴェルト大統領再選
11・8 スペイン革命開設、マドリ
ドに入城
11・20 駐西武藏山口大爆
11・25 日蘇開拓足尾開設
12・1 犀川会議、ブエノスアイレ
スで開催(→12・23)
12・5 全體シゲト大會、蘇聯法
案を採択
12・10 英王エドワード八世退位
12・12 英、ジージ六世即位宣佈
◆西安事件起る、12月25日解決
1937(昭和12年)
1・2 英朝・地中而相互應應道
開設開設
2・11 文化運動開設
2・26 モントルー開設開設及び國
定會公報
4・14 メーデー、全國的開設
4・19 英獨獨伊、スペイン開設對
抗を實施
4・28 ひとのみち教諭禁止
5・6 駐京行館ヒンデンブルグ号
米國レークハーストで暴動
5・12 英王ジョージ六世戴冠式
6・4 第一次近東內閣開設
6・11 トマス・エフ・スキー元帥以下
八將軍説(→11月)
6・30 乾岳子事件
7・7 菲律賓事件開拓(中日事變
の発端)
7・17 英独、英ソ開拓開設
7・29 通外事件
8・28 ン華不可侵條約開設
10・6 米國公使、日本の中國にお
ける行動を九ヶ國開設などひいて不開設的
開設と正式声明發表
11・3 中日事變に駆る九ヶ國開
設、ブラセセルにて開設、11月24日無期延
期
11・6 日駐伊三國方共開設、ロー
マで開設
12・2 フランシス開設、スペイン統
領にて就任
12・11 伊、英國連邦設立
12・13 日本軍南京占領
12・15 人民戰爭開拓者開拓
1938(昭和13年)
1・16 日本政府、「國民運動を對
してせす」との對中國開拓を發す
2・1 人民戰爭事件教練グループ
被撃
2・12 ロンドンで反日二十ヶ國
大会開かる
3・15 地墳合開設
4・1 國際運動員佐公布
5・22 最初の公定價格開(開米服
賣價格收購開設)施行
7・12 強奪地事件開拓
7・16 駐西武藏山口大爆
7・19 英王ジョージ六世崩御
8・10 強奪地事件開設開設成立
9・29 英・伊・佛・伊・伊四國開設
開設、ミュンヘンにて行わる
11・10 グマル・アチャルク、ト
ルコ大統領死し、イノニュ總理となる
12・6 伊・佛・米・蘇聯開設開設
12・9 清五郎開設
1939(昭和14年)
1・1 ン開設三次五ヶ年計画開始
1・25 チリー伊開設方大爆
1・26 ブラジル・アルゼンチン入城
1・28 東京大學研究學部事件起る
3・14 プロヴァキヤ開設、スロヴ
アキヤ独立宣言
3・15 独、チエコ合併ハンガリー
カルバト・ウクライナ合併
4・8 伊申、アルバニア首領ティ
ラナを占領
4・25 駐門開設開設トネル開設
4・27 夕張炭坑場路
4・30 ニューヨークにて万國博覽
会開幕
5・17 英蘇伊・ハレスチナ問題解
決に關する白書を発表
5・20 モンハン事件起る
5・22 独・伊政治軍事同盟開設
6・7 独・パルチック開設と不可
侵設定開設
6・8 英王ジョージ六世、ルーズ
ヴェルト大統領と開設
6・27 米、日本通商開設開設を告
6・28 ルーマニア・ハンガリー開
設開設、開設開設
9・7 批評家、ロンドン開設
9・22 日本軍、開設開設
9・26 米、西半球及び南極以外の
開設に對し開設及支那の輸出禁止令開設
10月16日実施
9・27 日駐伊三國司監護印
10・1 聖母開設行
10・4 ヒッラー總理、ムッソリ
ニ首相とブレンネルで会談
10・6 独、ルーマニア開設
10・12 大政翼賛會開設
10・28 伊大利、ギリシャ開設
11・6 ルーズヴェルト大統領三國
11・24 西蒙ズ公爵死す
11・29 在北緯、かいらい政權主席
に就任
12・12 独・ポーランドを分割、
開設を確定
1941(昭和16年)
3・1 ブルガリヤ、三國開設加入
◆独・ブルガリヤ開設
3・11 素、研和紗開設開設成立
◆米國開設開設
3・25 ユーゴー、三國開設加入
3・27 ユーゴーにクーデター開設
國務開設開設
4・1 六大都市にて米國開設開設
実施
4・5 ン・ヨーロー間不可開設
開設成立
3・30 中國かいかい政權成立、南
京に本部を開く
4・9 独・ノルウェー及びデン
マークに進入、北歐開設
4・29 高知市、米切内開設開設
5・1 名古屋市、砂糖切内開設
5・13 日・ソ中立開設開設

8・4 開文を國外に亡命
8・10 第二次バルカン戦争和解約
ブカレストで開催
10・6 日露開拓以下各國、中國民
族(支那共和國)領(10月8日公示)
10・10 対抗制、正式に大正制に就任
1914(大正3年)
1・12 墓地大火
1・22 シーメンス事件(市町村公
同組合ベルリンで公判)
4・22 米、メキシコとの交戦
5・28 伊、アルバニヤと交戦
5・29 米、メキシコとの交戦和約成立
6・28 オーストリア皇太子夫妻、
サラエヴォにおいてセルビヤの学生に刺
殺される(第一次世界大戦の発端)
7・23 ジャン・ジオレ (佛國社
會党書記) パリで右翼の書記に選出される
7・28 オーストリア・ハンガリ
ー、対セルビア宣戦
8・1 同盟宣言(英・奥地)と連合
宣戰(英・豪・セルビア・モンテネグロ
・南・日)との戦い宣戦(1-8・20)
8・3 例、対抗宣戦
8・4 英、対抗宣戦・米國外に立
ち宣言
8・9 法軍、リューシュ占領
8・15 バナム事件開通
8・23 日本、対抗宣戦
8・26 タンネンベルヒ大戦闘(1-
8・31)
9・5 豪・佛・意、同盟不統和約
批評印
9・6 マルク大戦闘(1-8・10)
10・29 トルコ帝國(对露宣戦)
11・5 英国、トルコに宣戦
11・7 日本軍、開拓占領
1915(大正4年)
1・24 英蘭軍北進で独領軍を破る
2・18 独、英に潛水艦無害化勅令
を開始
5・7 英船ラスタニヤ号撃沈される
5・23 伊露戦(イ・対オースト
リヤ・ハンガリ宣戦)
5・25 日露開拓約印・英、帝国
一戦内閣成立
8・4 法軍、ワルソワ占領
8・21 伊領、対抗宣戦
10・9 独領軍、セルビヤ首都ベ
ルグラード占領
10・14 ブルガリヤ、セルビヤに宣
戦、ついで苏聯俄伊領軍、ブルガリヤに
宣戦
10・19 日本、英・佛・露開拓不統和
約加入
1916(大正5年)
4・25 アイルランドのダブリンに
運動が起る(-5・1)
5・31 デュトランド沖開戦
6・14 連合國委員会議、パリにて
開催
7・1 ソンム会戦(1-7・10)
7・3 日露開拓開戦
8・27 伊領、対抗宣戦
8・30 ヒンデンブルク元帥、独領
委員となる
10・10 運合会結成
11・5 ポーランド、独立宣言
12・6 ロイド・ジョージ、英首相

となる
12・12 ドイツ、陸軍参謀を解職
12・15 ラスブチン(ロシアの政権)
ベテルスブルクで詔諭される
12・20 ウィルソン大蔵官、交戦
國との講和協定(12月附を商定)
1917(大正6年)
3・12 (ロシア)日露(2・27)いわゆ
る二月革命起る
3・15 普露ニコライニ世退位宣傳
即日帝位ニハエル・アレキサンンドロフ
シテ即位並にヨーロッパ連邦停止・ルヴォフ
ロシヤ假政府即位
4・6 米、对抗宣戦
6・16 ペテログラード(聖ペテル
ブルクの改称)に第一回全蘇ソヴィエト
大会召集
7・18 ギリシャ、対独境土宣戰
7・20 獄、ケレンスキー内閣成立
8・14 中國、対抗境土宣戰
9・1 接交、圓明園事件大元帥に
就任
9・12 金輪出禁止す
9・15 ケレンスキー、共和派宣戰
11・2 石井・ランシング宣戰(中
國に対する接合會門戸開放場所)成立
11・7 ベトログラードに十月革命
(ロシア)日露(10月25日)キント・イタリヤソ
エト大戦闘、ケレンスキー内閣をてん
覆
11・8 第二回全蘇ソヴィエト大会開
催、ソヴィエト政府を樹立し、レーニン人
民委員会議員となる
12・6 フィンランド共和国獨立宣
言
12・7 米、対境宣戰
12・15 ソ連、独・奥・土・ブルガ
リヤ四國とオーストリア・トリトスクにて休
戦協定(ソ連最西端突厥汗國開拓設
立)を締結
1918(大正7年)
3・3 地盤(ボルシェヴィキ)、同
盟協定(オーストリア・トリトスクと内戦立
3・9 ソ連、モスクワに遷都
3・21 地盤西前衛軍に大攻勢開始
7・2 地盤紅軍、シベリヤ政府
を樹立
7・4 第五回全蘇ソヴィエト大会、
開幕可決
7・15 地盤ニコライニ世続継
る
7・19 地盤、マルヌ河を越えて進
撃開始
8・2 シベリヤ出兵を宣言
8・3 高原東西開拓軍に米蘇開拓
会合にひきかがる
10・6 独、米ウイルソン大蔵官に
休戦協定
10・18 チェコスロヴァキヤ、独
立宣言
10・29 ヨーローブラヴァイヤ独立宣
言
10・30 トルコ、連合軍と休戦協定
を締結
11・4 オーストリア・ハンガリ
ー、連合軍と休戦協定(1-11・10)
11・9 法に革命勃発、ウィルヘル
ム二世退位宣傳(モラトリウム実施
決定)(1-1・20)
3・1 ロンドンに連合「最高公團
開設(1月3日付)
11・11 独、連合軍と休戦協定(1-11・10)
8・3 連合軍、対独開戦開始

11・12 オーストリア、共同宣言
11・10 ハンガリー共同宣言
1919(大正8年)
1・15 カール・リープクネヒト
(三・ハベルタクス首相)及びローダ・ルク
センブルグ、隠居する
1・16 先帝在位十八周年記念、頒
給御歌(同年1月16日開催)
1・18 ヴュルサイユ和平条約開
幕、東京開設(1月16日開幕)
1・21 イギリンド、独立宣言
2・14 地盤紅軍攻克
3・2 モスクワに改めてコミンテ
ルン(共三インターナショナル)の創立
合意(1-8・6)
3・23 ヘンリーニ、ファシシ
ズム開幕
4・23 地盤重慶開拓行
6・28 ヴュルサイユ和平條約開
幕、地盤重慶開拓及ノルマントン内閣
始
7・31 地盤、共和國憲法(ワ
イマール憲法)を採択(5・24日付、8・14
実施)
9・10 サン・ジュルマン和平条約
成立(聯合國対オーストリア)
10・8 フーゴー・ハイゼ(地盤公
民社会党書記)ベルリンで退社される
10・13 パリで協定に関する締結を
開始
10・20 第一回国際防衛会議、ワ
シントンで開催
11・19 米上院、ヴュルサイユ條約
批准を拒否
1920(大正9年)
1・10 地盤開拓行
1・16 明一回國會議事規則、バ
リで開かれる(聯合國対地盤)、地
面開拓行を決定
1・19 ルイ・マクドナルド労働黨
(1921・3・16開拓及ノルマントン)
4・30 日、ソ聯軍(休戦実行)
5・1 わが國最初のメーデー舉行
6・4 トリアンノ和平協定
7・5 スペー連合國委員会開拓
(1-7・10)
8・26 米露開拓第十九席(1月
人道開拓を監督)
8・2 シベリヤ出兵を宣言
8・3 高原東西開拓軍に米蘇開拓
会合にひきかがる
10・6 独、米ウイルソン大蔵官に
休戦協定
10・18 チェコスロヴァキヤ、独
立宣言
10・29 ヨーローブラヴァイヤ独立宣
言
10・30 トルコ、連合軍と休戦協定
を締結
11・4 オーストリア・ハンガリ
ー、連合軍と休戦協定(ドイツの官員認定2,200億
ルマルクと交換)(1-1・20)
3・1 ロンドンに連合「最高公團
開設(1月3日付)
11・11 独、連合軍と休戦協定(1-11・10)
8・3 連合軍、対独開戦開始

《ルール地方占領、開港收入を強押》
3・31 英、新坑夫大罷工
4・29 ロンドンに連合國最高公團
開設、開港金額高を1,200億マルクに規
定、5月11日接受(1-5・5)
5・19 地盤、新坑夫大罷工
9・5 地盤開拓第二回公團会開幕
(1-10・6)
11・4 欧友公團開幕、東京歌で
開幕
11・12 ワシントン軍縮会議開
(1-12・2)
12・13 ワシントン軍縮会議にて日
英米開拓の内閣開拓行
12・28 連合國開拓会議、ガンディー
の反英開拓抗議を可決
1922(大正11年)
1・1 ヘーベーに地盤開拓公團行
開幕
1・6 カンダ秋田開拓公團開
幕(1-1・13)
2・6 日米開拓公團開拓公團及
ひくみ開拓行(ジントン会議)
3・27 スターリン、ソ連共産黨中
央委員会書記員に就任
4・1 米、新坑夫大罷工
4・10 ジュノア・欧洲開拓公團開
拓行(カンダ開拓の扶助を承認)(1-5・19)
5・15 ヘーベー公團、対ソ連開拓司
開幕(1-7・19)
6・24 ベルリン及びハンブルクの
威斯バ登大開拓、マルク松島總管
10・23 伊、ノアスト、ローマ説
理
10・29 ムランジニ公團
11・1 中國、対日廿一箇條約の
調査を決定(トルコ、南國開拓
11・5 モスクワにコミンテルン第
四回大会、世界共産党の結成努力を扶助
11・20 第一回国際公團行
近東開拓行(1-2・24)
11・30 日高山地盤開拓行
12・30 第一回国際ソヴィエト大会
開幕、ソヴィエト社会主義共和国連邦(S
+ S + S + R)成立を宣誓
1923(大正12年)
1・2 パリ連合國公團、対抗協議
署
1・11 伊白軍、ルール地方占領
(地盤開拓の扶助により)
3・26 第五回丸山会議、サンチャ
ニエにて開幕(5・11)
6・5 共産黨第一次公團
7・24 ローランヌ会議において連
合公團対トルコ開拓及休戦協定
9・1 開拓大罷工
10・1 地盤開拓会議(自治権の
樹立確立)
10・10 中國、魯北開拓(公團行の
開拓行)、トルコ共産黨開拓行、ケ
マルクダチユルク初代大統領となる
11・2 ミュンヘンにてヒットラー
革命運動を起す(1-11・10)
11・— 新マルク軍、頭領的下諭
レシテンマルク軍開拓行を実行、緊急開拓路
行停止(11・15)
1924(大正13年)
1・21 レーニン死す

ジ・ホークに開幕(8月4日開幕)
8・30 山東忠兵下令
9・5 地盤開拓第八回公團会開幕
(南洋仲裁、地盤開拓問題を討論)(1-9・
27)
9・16 中國、南京・廣東・蘇聯三
政局合意宣佈式、蘇聯大蔵官開幕
10・17 地盤開拓会議ジ・ホークで
開幕(輸出八時後撤退の件を11月7日地盤
開幕)
11・— 頼子正江開拓大会、ソ連
五ヶ年計画作成を決議
12・14 米、南洋大蔵官開幕
12・18 トロツキイ共産党より除
名される
12・29 東京(上野・浅草間)地下
開拓、翌日より開幕
1925(昭和1年)
1・20 日本開拓公團(1-2・20公
布)
3・1 東京放送局、ラジオ放送開
始
3・12 地盤開拓行
4・21 治安維持法公布
4・26 ヒンデンブルク元帥、駐大
統領に当選
5・4 地盤武器公團、ジ・ホーク
で開幕(1-6・17)
5・5 航空測量法公布
5・23 滋丹後地方大罷工
5・30 上野開拓行(いわゆる五・
三十事件)、行動暴動化して郊外運動に
発展(1-6・1)
9・7 地盤開拓第十六回公團行
9・25 ボンバー、鶴巣工大罷工
9・30 開拓地方大罷工
10・1 開拓實業施行
10・5 ロカハノ授与安全開拓会議
開幕、12月1日ロンドンで開幕(1-10・
10)
1926(昭和元年)
1・11 地盤開拓、東三省の独立宣佈
3・8 地盤開拓公團全開幕(四
の加入開拓公團)
5・3 地盤にスト起り、参加人員
四百万
5・9 リチャード・バード、キン
グスベリー、北極圏往還飛行に成功
5・11 アムンゼン及びノビレ、飛
行船にて北極圏飛行成功
7・9 石介石、革命軍開拓公團に
就任、北伐を宣誓
9・6 朝鮮山脈開拓公團、三の
加盟及び任常利開拓公團(1-9・25)
9・14 ロカハノ協約実施
12・25 大正天皇崩御・皇太子裕仁
親王陛下葬作・冠和と改元
1927(昭和2年)
3・7 北陸地方大罷工
4・21 企農公團、公團行の休業に
より、翌日三連節のモラトリウム実施
5・4 ジ・ホークにて地盤開拓会議
開幕(1-5・23)
5・20 チャールズ・リンドバーグ
、ニューヨーク・ノリッジ大西洋飛行に
成功(1-5・21)
11・— 新マルク軍、頭領的下諭
レシテンマルク軍開拓行を実行、緊急開拓路
行停止(11・15)
1928(昭和3年)
1・15 第六回丸山会議、ハヴァナ
で開幕(1-2・20)
1・23 日米開拓公團正式開印
3・15 共産黨第二次公團(3・1・
五事件)
4・11 地盤全般会議、パリで開幕
(1-4・17)
4・19 第二次山東出兵
5・3 流通事件起る
5・8 第三次山東出兵
6・4 強化隊殺死事件起る
8・27 ケロッグ不開拓行、パリで
開幕
9・3 地盤開拓第十九回公團会開幕
(1-8・26)
10・1 シル、第一次五ヶ年計画開
始
10・8 石介石、中國農業生産開拓任
11・10 皇太子大典に行われる
1929(昭和4年)
3・28 日蘇貿易法定製印
4・16 共產黨第三次公團(4・1・
六事件)
6・8 第二次マクドナルド労働黨
内閣成立
6・17 地盤大火
7・17 ソ連、中國に經濟援助開拓
8・5 地盤開拓公團会議、ヘーベー
にて開幕(8・31)
8・7 フーゴー・エッカーナー、ツ
エーベリン号にて世界一周飛行に成功
9・2 第二回国際第七回公團会議、
9月5日佛首相ブリアン欧洲開拓公團行
開幕(1-9・25)
10・3 ユーゴ・スラヴィヤ、王陵と
なる
10・4 英ソ貿易法定製印ロンド
ンで開幕・マクドナルド英首相、フーヴ
ルー大統領と会見
10・24 米ウォール街で断続たん
株價大罷工
12・28 中國開拓公團、沿岸公團
開幕
1930(昭和5年)
1・3 ヘーベーに第二回国際公團
会議開幕(ヤング高宗氏)
1・11 金絲出罪集會
1・21 ロンドン日英米佛伊荷軍
團加開幕、4月22日開幕
1・26 ボンベイで印度独立示威
開幕

クラカツワ日本大統領(=8・28)
9・3 ブルグノフ死す
1884(明治17年)
1・4 英、エジプト公会議立
3・14 南アフリカ連邦開拓者公会議
新規開拓日本加入(=12)
8・4 英、民主連合公会議大会にて社会民主連盟と並ぶ(マルクス主義の影響)
9・23 加賀山事件
10・27 自由党解党
12・4 東京事変再開、日本公使館襲撃
12・6 英蘭、第三選舉法修正公会議
1885(明治18年)
1・9 日本憲政の統和運動が成る
2・26 コンゴ自由公会議立(ベルリン公会議により)
4・18 天津公会議立す◆專賣特許権確定
9・18 増税マリヤの革命政府、ブルガリヤへの合併を宣言す
10・20 メートル公会議加入
12・22 内閣閣員更迭、伊藤博文首相となる
1886(明治19年)
1・1 英蘭、ビルマを併合す
3・6 米統領大統領
4・6 英社説に南洋公会議立
4・8 グラッドストーンの第一回アイルランド自治公会議会議出
5・1 第一回議院改正公会議、外務省に開かれる
7・13 英国グリニッジ天文台子午線中心點子午線を本初子午線とし開港21年1月1日より開港180度の子午線を本丸第一の測量と定む
8・6 コロンビア共和国公会議立
8・1 パリに國際労働者公会議
11・11 リヨンに第一回労働組合大公会議、労働組合全国公会議立(佛)
1887(明治20年)
1・25 伊軍、マダガスカルにてエチオピヤ公会議立
3・13 烏塔公会議立
4・4 ロンドンに英領南アフリカ連邦開拓公会議
5・12 英蘭、オーランドを併合
10・1 朝鮮安政、文政を併合(朝鮮公会議)
12・1 安那、ポルトガルと澳门開拓公会議
12・25 保安公会議立
1893(明治26年)
1・17 ハワイ王室革命勃発、サンドウイッチ共和国立
3・20 諸河成志千島開拓に出立
7・1 英領開拓戦争(=1894)
9・1 グラッドストーンの第二回アイルランド自治公会議、英下院通過
1894(明治27年)
2・10 西班牙開拓公会議
3・27 金玉均、上院で議論される
6・24 カルノー領大公國、リヨンで伊那公会議により開拓される
6・27 ブルマン・スト、ミシシッピ以西の鉄道に及ぶ
7・25 航空中止限
8・1 海運に貢献
9・17 黄色公会議
10・15 佛、ドレフュース事件勃発
11・22 日米通商航海公会議立(=10)

2・11 大日本帝國憲法公布◆文相森有礼、官邸にて署名される
4・20 ヒットラー生る
5・6 パリに國際労働者公会議
6・14 ベルリン公会議、サモア島を英米共の共同開拓権と決定
7・1 パリに國際労働者公会議
10・2 明一回訊米公会議ワシントンで開かれる(=1890・4・19)
11・15 ブラジルに原点起り、ジルバウス公会議立
1890(明治23年)
3・15 ベルリン國際労働者公会議
3・18 ビスマルク宰相を殺す
5・1 世界最初のメーデー挙行
5・17 斯哥特公会議立(ベルリン公会議により)
7・1 明一回議院改正公会議事◆英國公会議、東西アフリカ開拓決定し桂へリゴーランドを開拓
7・2 ピンシャーマンズストラスト法制定
8・25 立憲自由党結成
9・16 パリで國際労働者公会議
10・1 水マダガスカル開拓法制定(開拓公会議をとる)
10・12 田舎公会議立
10・30 教育勅諭布
11・29 第一回議院改正公会議式挙行
1891(明治24年)
3・11 英蘭和約、ニューファウンド蘭ドント開拓問題解決
5・1 第一回議院改正公会議、外務省に開かれる
7・13 英国グリニッジ天文台子午線中心點子午線を本初子午線とし開港21年1月1日より開港180度の子午線を本丸第一の測量と定む
8・6 コロンビア共和国公会議立
8・1 パリに國際労働者公会議
11・11 リヨンに第一回労働組合大公会議、労働組合全国公会議立(佛)
1897(明治30年)
2・15 ギリシャ・トルコと交戦
3・29 金本位制を施行
4・17 トルコ、ギリシャ公会議(=12・4開拓)
6・12 印度アッサム地方大地震
6・16 米、ハワイ併合條約締印
8・29 バーゼル(スイス)にユダヤ人のパレスティナ問題に開拓第一次公会議
10・1 初詣、國号を雄と改む
11・15 独軍、膠州開拓
12・4 トルコ、ギリシャ開拓す
1898(明治31年)
3・24 韓、立憲を拒む
4・24 米、西班牙開拓
6・22 雄歩、自由党公会議
組立
7・30 ビスマルク死す
8・12 米、スペイン和平開拓公会議
成、ハワイを併合
9・1 英領開拓ファシオダ(英領エジプト・スダン)開拓公会議
11・5 痘軍、フアン・ダスティニア公会議
1899(明治32年)
2・4 米比開拓起る
5・1 聖和萬事、山東省に起る
5・18 ヘーベー万國和平公会議
(-7・29)
7・17 改正公会議実施
7・29 万國和平公会議
9・4 アラスカ大地震
9・6 米國、列強にて支那の門戸開放及び機會均等を認める
10・11 南洋開拓(ボーア戦争)起る
1900(明治33年)
4・15 パリに國際労働者公会議(=11)

1895(明治28年)
2・24 キューバ島、スペインに侵攻
4・17 日清戦争終結(下関条約)
4・23 電信社三國干涉
4・30 オーストリア・ハンガリー・ブルガリヤと連携開拓公会議
6・21 キール公会議
7・20 ヴェネズエラ開拓問題に開拓公会議(=1890・11)
10・26 台湾平定
11・8 韓国公会議立
1896(明治29年)
1・15 英領開拓、印度支那公会議
5・1 マダガスカル開拓公会議
3・1 但軍、アドリエ・エチオピヤ
軍に敗北す
6・15 三國地方大公会議
6・16 クレタ島の反乱、トルコ、ギリシャ公会議(=1899)
9・30 伊・佛ニスス公会議(佛のチュニス進出を承認)
10・26 伊、エチオピヤの完全独立を承認(アディス・アベバの内)
1897(明治30年)
2・15 ギリシャ・トルコと交戦
3・29 金本位制を施行
4・17 トルコ、ギリシャ公会議
(12・4開拓)
6・12 印度アッサム地方大地震
6・16 米、ハワイ併合條約締印
8・29 バーゼル(スイス)にユダヤ人のパレスティナ問題に開拓第一次公会議
10・1 初詣、國号を雄と改む
11・15 独軍、膠州開拓
12・4 トルコ、ギリシャ開拓す
1898(明治31年)
3・24 韓、立憲を拒む
4・24 米、西班牙開拓
6・22 雄歩、自由党公会議
組立
7・30 ビスマルク死す
8・12 米、スペイン和平開拓公会議
成、ハワイを併合
9・1 英領開拓ファシオダ(英領エジプト・スダン)開拓公会議
11・5 痘軍、フアン・ダスティニア公会議
1899(明治32年)
2・4 米比開拓起る
5・1 聖和萬事、山東省に起る
5・18 ヘーベー万國和平公会議
(-7・29)
7・17 改正公会議実施
7・29 万國和平公会議
9・4 アラスカ大地震
9・6 米國、列強にて支那の門戸開放及び機會均等を認める
10・11 南洋開拓(ボーア戦争)起る
1900(明治33年)
4・15 パリに國際労働者公会議(=11)

1901(明治34年)
1・1 テル Aviv開拓立
1・22 ヴィクトリヤ女王港キエドワードワード七世即位
9・6 マッケンレー大統領、虚無党員により開拓されエマヌエル三世即位
10・14 列強公、北京入城
9・1 英領、南洋共和国公会議を宣誓(トランシヴァール領民公会議成立)
9・13 韓民族を開拓し立憲政府公会議
12・8 朝鮮、致仕公会議立
1906(明治39年)
4・18 サンフランシスコ開拓公会議
5・10 韓國公会議立(大韓開拓公会議)
7・23 第二回訊米公会議、リオ・デ・ジャネイロで開拓
8・16 チリ・大地震
10・19 韓國公会議立、國民開拓、人間の幸福、庶民居住民の自由を規定
11・26 南滿洲鐵道株式会社設立
1907(明治40年)
8・16 フィリピン立憲公会議
8・31 黄蘭開拓公会議、アフリカスタン、ペルシャにおける勢力範囲決定
9・26 ニュージーランド自治公会議立
10・18 第二回ヘーベー万國和平公会議において(6月15日開拓)中國開拓本邦の處理公会議(=開拓)
1908(明治41年)
2・1 ポルトガル王、カルロス一世及び皇后太子ルイス・フィリップ・リスボンで開拓されマヌエル二世即位
6・23 韓國無税開拓公会議公布
7・3 青年トルコ党革命運動起る
10・5 ブルガリヤ独立宣言◆オーストリア・ハンガリー、ギスニヤ及びヘルツェゴヴィナ併合
9・5 文部、韓國と濟陽公会議
12・1 暫時調査を十年間に施行の件を公布
1909(明治42年)
4・19 キシネフにおいてユダヤ人虐殺(=4・20)
8・4 ベルリン國際労働者公会議
11・3 バーマ、コロンビアより独立し共和国となる
11・18 米、バーマ頭よりナマ頭同一頭を永久租借
12・17 ライト兄弟(米)飛行機(モーター付)にて直線飛行に成功
1910(明治43年)
2・9 モロッコの駐在公使立
2・10 上海で万國開拓公会議開催
4・6 ロバート・ペアリー(米)、北極探検に成功す
4・14 德意公会議公布
5・10 中國、韓國と東支那海に開拓する公会議
7・31 大阪市大火
8・14 近江美豊大地震
8・19 印度開拓公会議、蘇聯会議通過
8・30 ナイリーに國際貿易公会議加
10・26 伊那開拓ハルビンにて開拓さる
1911(明治44年)
8・23 白銀併合公会議(8月29日公布実施)
9・23 治財費公、衝突予防公会議
に開拓する領地公(領地公会議)
10・6 ポルトガル、王政廢止し共和国となる
11・20 トルストイ死す
11・29 白銀公、南洋開拓に向う
1912(大正元年)
2・12 南京に国民政府立、陳文輝大統領に就任
2・15 貨物税、關稅大統領に當選
2・26 英領の炭坑労働者公会議八十万
罷工公会議
4・2 中國、南洋統一の開拓公会議
成立す
4・11 英下院、アイルランド開拓
某型公
4・14 英領タイタニック号沈没
7・15 南京にて孫文謫の第二革命
勃発す
7・30 明治天皇崩御◆皇太子嘉仁
親王即位◆大正と改元
9・1 チベット、独立宣言
10・2 トルコ、セルビヤと開拓
10・8 第一次バルカン戦役(土
耳モンテネグロ、ブルガリヤ、セルビヤ、ギリシャ)
10・15 ローランズ平和開拓の結果
伊領、トルコよりトリボリ開拓
10・18 スイスのツーシーで伊士
蘭開拓公会議
12・3 明一次バルカン戦体験す
(ギリシャは開拓公会議)
12・16 第一次バルカン戦開拓公会議
ロンドンで開拓
一一・一 米國、外債公合社よりの土地
買戻しに關して規定(モンロー主義の影響)
ミシシッピ川大氾濫
1913(大正2年)
1・23 青年トルコ党、革命を起す
1・30 明一次バルカン戦開拓和
約、開拓公会議
2・2 列記・バルカン戦開拓和
約、ギリシャ
2・18 ギリシャ・モロッコ、サロ
ニカで開拓さる
5・3 明一次バルカン戦開拓和
約、ロンドンで開拓
6・30 伊、大韓開拓公会議(公会議
白銀公開拓す)それも軍備供給
5・7 ジョージ五世即位宣誓(英)
5・15 ロンドン日英開拓公会議
5・31 南開拓公会議成立
6・7 南部朝太利大震災
7・12 第二次バルカン戦開拓(ブ
ルガリヤ対セルビヤ、ギリシャ、ルーマ
ニア、トルコ)
7・13 公文に南洋を中華民國と改
称す
7・14 中國革命軍、革命を起す

世界年表 - 3 -

- ヤ、ニューギニヤ間の開拓を免免す
1771 英領の输出税金となり歐大陸にも好評である
1772 同・瑞・瑞の第一回渡航分離
1774 コレラ流行(中國)◆フィラデルフィヤに瑞一北美大陸会議
1775 米連独立戦争勃発(1775)◆第一次大陸会議召開
1776 米連独立宣言◆アダム・スマスの「國富論」及び「ドワード・ギボンの『ローマ歴史』」
1777 水大湖会議、連邦政府を規定し議見をアメリカ合衆国と称す、星条旗制定
1778 同、米連独立を認可し対英戦争◆ルゾー院す
1779 檻船大火
1781 カントンの捕虜回収北洋出走
1782 英米休戦協定締結
1783 清電船大火、蘇州作、南北地方大旱きん◆太平天国(英、米連の独立)承認(西新政府の大別離)◆ヴェルサイユ新宮開館(英・佛・西)◆カラブリヤ大旱
1786 開港権北洋水
1787 水運開拓制定◆俄国開拓にひんし名詔頒布
1789 境内革命勃発(三部会議第一感民議会成立、バステイユ活躍、ト・人權宣言実現、ルイ十六世をパリに逃行説立◆第一回米連会議ニューヨークに開催)・ワシントン、初代米大統領となる
1790 同、世襲の貴族廢止◆米各地にイングリッシュ開拓
1791 佛ジャコバン党の革命、ルイ十六世逃亡を立ててヴァレーズにて倒れる
1792 西印植民地大火◆同対墳墓頭◆第一回欧州同盟戦◆佛共和國宣言
1793 佛ルイ十六世死刑◆マラー酒税立る◆佛共和國法公布◆佛、英及びオランダに宣戰
1794 ダントン、ロベスピエール死刑(ジャコバン党の絶命)
1795 例議院が成立◆ナポレオン第三軍の軍となる◆ポーランド第三次分割によつて滅ぶ
1796 ナポレオン、即に加入
1798 英艦没、ブリキールにて開港税を徴收す
1799 同、ブルメールの空◆ナポレオン凱旋となる◆第二回開港(歐州同盟成り)・ワシントン死す
1800 井鹽、河岸の輸入を禁止◆ナポレオン、オーストリア軍と戦う
1801 英佛開港とロンドン仮開港約定◆佛プロシャ・オーストリア開港にリューベンスブルト成立◆大ブリテンとアイルランドとの連合統一成り大ブリテン連合王国となる◆トリボリ戦争(1805)
1802 (印度大旱きん)アミヤン英連邦和約が成立◆ナポレオン、チサルビナ共和国を併合する
1803 例議院、英國開港◆英对佛宣戰
1804 ナポレオン崩落となる◆ナポレオン法典(民法)公布◆オーストリア開港立し独占フランシス二世その帝となりフランシス一世と称す◆カントン死す
- 1805 トロファカルガルの面臨、ネルソン艦沈す◆第一次英荷戦争王國に承認◆第三回對荷交戦圖◆アスクテリウムの三勝利、第三回歐州同盟更解
1806 蘭威、歐州同盟の財政を宣言◆佛、瑞に対する大湖封鎖を開始◆ライシヒ成立◆瑞一清電船大火(歐州同盟)◆開拓ローマ歴史終了す
1807 瑞人、極東に來航、貿易を要求◆ナポレオン、コロナ軍在リーファン内に破る◆ティルジト和約(同・瑞・オランダ)◆瑞、对英宣戰
1808 開港許可、瑞太湖開拓を行ふ◆水兵、瑞船入港止
1809 オーストリア新宮開設◆オーストリア、佛開港(ヴィーン牛津開拓成立)
1810 ラテン・アメリカ、五島開港開拓
1812 外対新宮(1814)◆ナポレオン、モスクワで敗退◆ヴュヌズニク、コロンビヤ運河北方大旱きん
1813 ナポレオン、ライプツヒで高・プロシャ・オーストリア開拓年に敗退
1814 ナポレオン、エルバ脱出、自白政治、ワーテルローにて敗退、ルイ十八世再び三度につく◆ナポレオン、セント・ヘレンに逃れ1815年5月5日死す◆ウイーン條約開拓◆和親王室となりナポレオン三世と称す◆共産主義者同盟解散
1815 印度カンバーバーを中心にアシヤ最初の鉄道開拓◆米使節ペリー航路に沿る◆クリミヤ戦争(羅土戦、1856)
1816 東洋開拓記録大航海◆英連邦対俄開拓
1817 ルイ・ナポレオン、クーデタを發行◆ロンドンにて第一回開港開拓會議◆ドージーー直轄にて市町村開拓
1818 ルイ・ナポレオン、開拓王となりナポレオン三世と称す◆共産主義者同盟解散
1820 印度開拓者を中心アシヤ最初の鉄道開拓◆米使節ペリー航路に沿る◆クリミヤ戦争(羅土戦、1856)
1821 ルイ・ナポレオン、エルバ脱出、自白政治、ワーテルローにて敗退、ルイ十八世再び三度につく◆ナポレオン、セント・ヘレンに逃れ1815年5月5日死す◆ウイーン條約開拓◆和親王室となりナポレオン三世と称す◆共産主義者同盟解散
1822 アルゼンチン独立宣言
1823 ギリシャ独立宣言(1829)◆メキシコ、ペルー、グアテマラ独立
1824 ギリシャ、トルコより独立宣言◆ブラジル、ポルトガルより独立宣言
1825 北朝鮮朝鮮大火◆パリー和約(クリミヤ戦争開拓)◆開拓中立、ドナウ河航行自由となる
1827 印度人一揆起る◆ムガール帝国滅ぼされ
1828 宗教の大旱きん◆日本、英米開拓と修好通商開拓◆中國、韓國と麥理浩開拓◆ヴィクトリヤ女王、印度王となる◆東印度会社解體
1829 シーポルト開拓に来る◆米、モンロー主義宣言◆中央アメリカ連合共和国成立
1830 メキシコ共和国開拓
1832 英國世界最初の鉄道開拓◆英國、労働組合を法的に認可◆ボリヴィヤウルグワイ独立宣言
1833 ベートーヴェン死す◆英・佛・蘭聯軍ナヴァリノ海戦にてトルコ軍を破る◆米國で初めて鉄道開拓される
1834 土地制限(第一次バルカン戦争)・1839)◆シーエーブル死す
1835 アドリヤーブル和約(罪・土間)によりギリシャ独立を承認する◆ヴェネチア独立
1836 例議院イタリヤ王位承認エマヌエレ王となる◆ウイルヘルム一世、プロシヤ王となる◆アメリカ南北戦争起る(1861-5)
1837 ナポレオン、即に加入
1838 夏季高熱病不作、東北地方大旱きん◆英國開港、戻れい禁止法実施
1839 英・瑞・ポルトガル・スペイン開港協定
1840 チリー中南大旱
1841 ヴィクトリヤ女王即位

- 1842 印度化西地方大旱きん◆汽船始めて大西洋を横断
1843 黄、アラビヤのアデンを奪取
1844 新片開拓起る(1842)◆英、ニュージーランドを認可◆英國に初めて鐵道開拓用
1845 上下カナダ合併
1846 印度開拓(同片開拓開拓看守の英)◆英國、自由貿易開始(ロバート・ペリーの貿易改革)
1847 英蘭シント・ジョンズが方領有◆コロナ軍
1848 例議院新宮開拓する◆瑞ニニ月革命◆ウイーン開拓
1849 ブロシャ、新開拓地開拓のためハノーヴァー及びザクセンと三箇開拓会議
1850 長崎火災の私起る
1851 ルイ・ナポレオン、クーデタを發行◆ロンドンにて第一回開港開拓會議◆ドージーー直轄にて市町村開拓
1852 ルイ・ナポレオン、開拓王となりナポレオン三世と称す◆共産主義者同盟解散
1853 印度カンバーバーを中心にアシヤ最初の鉄道開拓◆米使節ペリー航路に沿る◆クリミヤ戦争(羅土戦、1856)
1854 東洋開拓記録大航海◆英連邦対俄開拓
1855 在戶大旱きん◆セヴァ・ストボーラズ放(クリミヤ戦争)
1856 北朝鮮朝鮮大火◆パリー和約(クリミヤ戦争開拓)◆開拓中立、ドナウ河航行自由となる
1857 印度人一揆起る◆ムガール帝国滅ぼされ
1858 宗教の大旱きん◆日本、英米開拓と修好通商開拓◆中國、韓國と麥理浩開拓◆ヴィクトリヤ女王、印度王となる◆東印度会社解體
1859 リヴィングストン(英)アフリカ大陸地方開拓◆ダーウィンの「種の起源」出る
1860 墓田門外の変◆中國、開拓と北京暴動◆英法通商開拓◆ガリヴァルディ、伊・オランダ一連動を開始◆リンカーン米大旱きんに墜る◆ショーベンハッセン死す
1861 イタリヤ王位承認エマヌエレ王となる◆ウイルヘルム一世、プロシヤ王となる◆アメリカ南北戦争起る(1861-5)
1862 生疫事件起る◆佛、サイゴン新たに開拓により安南開拓を認可◆ビスマルクプロシャ宰相となる◆リンカーン1863年1月1日よりの改憲へ開放を宣言◆ニューヨーク、サンフランシスコ開拓開拓
1863 例議院、カンボジアを保護領とする◆ロンドンの地下鉄開拓
1864 國際労働者協会(第一回インターナショナル)ロンドンで成立◆万国十ヶ開拓開拓会議◆リンカーン、大旱きんに開拓する
1865 日本開拓す◆ラテン語開拓
◆南北戦争終る◆リンカーン刺殺される
1866 プロシヤ・オーストリア開拓◆ジュネーブに第一回インターナショナル開拓開拓◆歐米開拓底線開拓
1867 明治天皇即位、王政復古◆バ

世界年表 - 4 -

- 9・12 新羅・新羅開拓是開拓式
9・13 ヘーベーにて第五回インタークシ・ナル征伐開拓
10・22 三河開拓(独・瑞・瑞)
11・9 膨脹税制定(太陽税を採用し明治5年12月3日を明治6年1月1日とする)
12・1 墓税令公布
1868(明治元年)
1・3 墓税状況の確
1・7 墓税正味大号令颁布
2・3 墓税の割下
3・9 瑞・佛開拓開拓
3・14 五箇開拓の開拓文を聽む
4・27 ドイツ開拓会議召喚
6・2 マン・チャスターにて第一回開拓開拓組合会議開催(英)
8・13 ペルー、エクワドル大旱
8・27 明治天皇即位
9・8 明治と改元し一世一元の制を定む
9・26 ベルリンにて三回開拓組合開拓組合開拓會議
9・18 明治天皇即位
2・1 佐賀の私起る
4・4 亞細亞通、台海征討
5・22 台湾平定
10・9 万國開拓組合開拓約定
10・31 日南開拓開拓組合開拓印(台物事件真金五十万圓を收受、撤兵を約す)
12・31 スペイン王政復古
1873(明治6年)
1・18 墓税助助扶助開拓組合開拓を定む
2・1 佐賀の私起る
4・4 亞細亞通、台海征討
5・22 台湾平定
10・9 万國開拓組合開拓約定
10・31 日南開拓開拓組合開拓印(台物事件真金五十万圓を收受、撤兵を約す)
1874(明治7年)
1・18 墓税助助扶助開拓組合開拓を定む
2・1 佐賀の私起る
4・4 亞細亞通、台海征討
5・22 台湾平定
10・9 万國開拓組合開拓約定
10・31 日南開拓開拓組合開拓印(台物事件真金五十万圓を收受、撤兵を約す)
1875(明治8年)
2・25 墓税共和國憲法制定
5・7 日屬呂宋太交換新約開拓印
5・18 チリー大旱
5・20 メートル開拓開拓
5・28 社会主義労働組合成立シゴーダ開拓開拓(独)・5・29)
6・26 陰謀事件及び新開拓領布
9・20 在華事件起る
1876(明治9年)
2・25 日韓修好開拓約定
4・28 交ヴィクトリヤ女王、同母女帝を宣言
5・19 フィラデルフィヤにて米連独立百年記念博覧会開催かる(1876)
7・2 セルヴィ・ヤ、モンテネグロ対トルコ宣戰
9・13 中國、英國と支那開拓約定
10・24 朝鮮開拓、亂をなす
10・27 秋月の乱
10・28 草原の乱
1877(明治10年)
2・15 西南の私起る
3・1 万國開拓組合開拓約定(6・10箇市)
4・12 東京大旱成立(東京府別次学校、東京医学校を合併改称)
4・24 ロシア、トルコ開拓記載
5・3 博物社(日本在十字社の母体)を結成
8・21 瑞一回内開拓開拓組合開拓(会期3ヶ月余)
9・24 西南の役平定
1878(明治11年)
3・3 ロシア、トルコ開拓記載
スティーナノ開拓成る
5・1 パリに國際博覧会開く
5・14 大久保利通、東京開拓幕
6・25 在華事件起る
7・29 ム・クソーニー生る
8・25 例議院、安南を保護國とす

世界年表

【西暦紀元前】

5000年 エジプト文明発生
4241 エジプト紀(365日)創始
4000年 スメル人、メンゴタミヤ南部にて農耕に従事す
3010年 漢民族、黄河沿岸に定住
2900年 エジプトのギゼーに世界最大のピラミッド誕生
2100年 ハムラビ法典制定・エーゲ海文明の最盛期
2000年 印度人、恒河地方よりインダス河を経て移住・クレタ文明の最盛時代
1900年 フニキヤ人、エジプト文字より字母を作る(アルファベットの始)
1500年 印度文化別系・フェニキヤ人の興亡
1193年 特ロイ戦争(=1184)
960年 ソロモン王の死後、ヘブライ王国の極盛時代
850年 フニキヤ人、西海岸紀元からタガス語
776年 第一回オリンピック競技開催(ギリシャ史年代の紀元)
753年 ローマ建国(羅祖ロムロス、初代王政時代始まる)
600年 パピロニア印加間の貿易旺盛
586年 パピロニア王ネブカドネザル、コダヤ王国を征服
560年 駅生(=485)
551年 孔子生(=479)
550年 ベルシャ帝国滅没
538年 ベルシャ王、ユダヤ人をパレスチナに輸送せしむ
521年 ベルシャ王ダリウス一世即位
500年 マヤ文明完成(メキシコ、中美アメリカ)
470年 ソクラテス生(=300)
436年 ローマ滅
431年 ペロボンペサク戰争起る
423年 ブラント生(=318)
384年 アリストテレス生(=322)
336年 フィリッピ二世(アレキサンダー大王の孫)即位
330年 ベルシャ帝国滅没
324年 アレキサンダー大王、東方へ遠征を実行
305年 ローマの水道完成
264年 第一回ペニニ戰争(=241)
221年 東、西漢及び貴霜帝国統一
218年 第二回ペニニ戰争(=201)
213年 質、討伐百役の書を残す
211年 ハンニバル、撒馬爾罕に迫る
149年 第三回ペニニ戰争(=148)
140年 年号の始(中国)
135年 第一回迦太基の叛乱(=182)
60年 第一回三國政治成立(ローマ)
44年 ジュリアス・シーザー殺さる
30年 ローマ帝国の直接監視開始
*クレオパトラ及びアンティオコ自殺
29年 黄帝決済
4年 キリスト生る

【西暦紀元後】

864年 富士山大噴火
870年 フランク王国、勃艮第に分裂
878年 相模国(現在神奈川県)大噴火
885年 別名庄団火
900年 十世紀初頭ノルウェー人、グリーンランドを拓く
912年 エジプト大饥饉
918年 関川大氾濫
936年 オット大帝(即位時)ルイ四世(フランス王)となる
962年 佛敎中國で釋迦
970年 ローマのコロヌム起て
979年 グロスヴィヤ火山爆発、ボンペイ市巻き没
105年 藤原(後醍醐)市をもつて紙を認めた
135年 ユダヤ人の流刑生活の始
166年 中國、ローマ帝国と交通開始
200年 神功皇后三草征伐と稱う
220年 後漢朝(後漢)四百年統一の始
無し
285年 百帝の王仁、日本に來る
323年 コンスタンチヌス大帝、ローマを統一
325年 ニケヤ京宗教会
364年 ローマ東西帝國と分裂
375年 グルマン族の大移動始まる
394年 テオドリウス大帝、再びローマ統一(386大帝死し再び分裂)
476年 オドアケルにより西ローマ帝國滅ぼまる
529年 ニスチニヤヌス法典編さん
552年 侯級、百萬より日本に來る
570年 マホメット、メカに生る
(-32)
604年 藤原太子十七條憲法制定・層日採用
607年 マホメット、メカよりメデイナに出来(7月10日、ヘジラ曆の紀元)
630年 道害始の始
645年 離我氏滅亡・大化の年号建元
646年 大化の改新
650年 サラセン(中国と通商)
655年 英國開拓(シモン・ド・モンフォールの集合)開始(下院の起源)
701年 大宝鏡合制定
710年 宇明天皇、涼風に都を定む
711年 サラセン(反敵徒軍)アフリカよりスペインに侵入
712年 古事記成る
720年 日本書紀成る
771年 チャールス大帝(佛)フランク王国を統一
779年 佛のカロヴィング王朝時代の人、ギルドを創立
786年 サラセン文化黄金時代
794年 和田天皇、京都に都を定む
800年 チャールス大帝、西ローマ帝國復興
830年 出羽地方大地震・この頃アラビヤ文化の極盛期
860年 ゴルム、丁抹統一王國建立
861年 ノルマン人、アイスランドを拓く
862年 リューリック、ノウゴロド築城(ロシア南端の起源)
863年 コンスタンチヌス皇帝の決済で開拓

續

1431年 ジャンヌ・ダルク、英軍をよみがえりに北へ勝利する
1445年 ポルトガル人、ヴェルゲラを拓く
1452年 レオナルド・ダ・ヴィンチ生る(-1519)
1453年 オットマン・トルコ人、コンスタンチノープルを占領、オットマン帝国の治世となる(東ローマ帝国滅ぶ)
1455年 バラ賊軍(-1485)(英國王位繼承)
1457年 大田沼湖、江戸城を築く
1467年 関川の亂(-1477)
1474年 ユトレヒト修道院(英エドワード四世、伯爵ハサウエの修道院)
1479年 スペイン統一王國成立
1486年 バルトロメオ・ディアブス、黒死病を防ぐ
1492年 コロンブス(伊)大西洋を横断し米大陸を発見、サン・サルバドールにて上陸
1497年 ジョン・カボット(英)北米ケーブ・ブレトン島に到着(米大陸発見)
1498年 東洋航路開拓船(ヴァスコ・ダ・ガマ、葡萄牙)を回避し、カルカタに到着
1499年 アメリゴ・ヴェスپッチ(伊)ブラジルを発見
1511年 ダイエゴ・ヴェラスケス(スペイン)キューバを占領
1512年 英國及び西印度大綱領(ポンセ・デ・レオン(スペイン)アフリカ)を発見
1513年 ヴァスコ・ヌニエス・デ・バルボア(スペイン)パナマ海峡を横断し太平洋に面す
1517年 マルチン・ルーテル、宗教改革を唱う
1519年 マゼラン、世界一周の途にのぼる・コルテス(スペイン)メキシコ征服
1520年 マゼラン海峡発見
1522年 マゼランの部下、世界周航完成
1526年 ベニマル、デリーを占領しガール作戦開始
1530年 コベルニクス、地動説を唱う
1531年 ピサロ(スペイン)ペルー征服
1532年 ジヤン・カルヴィン(佛)、宗教改革を唱う
1534年 ポルトガル人始めて日本に来る・ヘンリー八世(英)ローマ教王と絶縁
1536年 英國聯合独立宣言
1541年 フランシス・ダヴィエル(スペイン)旗兒町に来る
1546年 マルチン・ルーテル死す
1564年 シェクスピア生る(-1616)
ミケランジェロ逝世
1568年 オランダ人対スペイン自由戦争(-1648)
1572年 サン・バルテルミミ祭日、ユグノー(プロテスチント)虐殺される
1579年 オランダ共和国設立
1583年 聖母モリカ、大坂城を築く
1584年 オレンジ公ウイリヤム、スペイン王の割譲により画策される
1588年 英艦隊、スペインの無敵艦隊を破る
1592年 朱印和書貿易(朱印通商)・ウイリヤム王戦争(英荷戦争)・ピヨートル大帝即位(露)(=1725)

續

1600年 英人、東印度会社創立
1602年 オランダ東印度会社創立
1603年 徳川家康、征夷大將軍に贈せらる・フコ・トランド王(エーモン六世)
1606年 英國「ロンドン会社」プリマス会社(北米開拓に着手)
1610年 英人ヘンリー・ハドソン、ハドソン湾(米)を発見・アンリ・四世(ブルボン王)の命で調査する
1618年 三十年戦争(1618-1648)
1620年 メイ・フラー号の旅運荷物被分離、自治体組織を設立(11・11)、プリマス・ロックスに上陸(12・21)
1621年 日本、シャムに貿易を許可
1630年 德川幕府、耶蘇教布教の輸入を禁止
1631年 ヴェスヴィヤ火山(伊)大噴火
1634年 ワレンシュタイン(駐名将)独王フェルディナンド二世の割譲により罷免される
1635年 切支丹禁制を設ける
1636年 朝鮮侵攻を消し放逐(中國)
1637年 鳥取の乱起る
1639年 日本開拓(隣人以外の入國を禁ず)
1640年 北海道駒ヶ岳大噴火・ポルトガル、スペインの支配より独立
1642年 東北地方大震、大饥饉(英チャーチル一世、震台と罪)ハ十月内亂起る(-1645)・ガリレオ・ガリリ・ニュートン生る・隣人アベル・ダスマン、ニュージーランド及びタスマニア島を発見
1643年 関東大震(中国)
1648年 ウエストアフリカ商約(オランダ、イスラム自由共和国と結むる)(三十一年開拓)
1649年 英王チャールス二世処刑されクロムウェル、共和政実施
1650年 デカルト死す
1661年 クロムウェル、航行新規開拓
1666年 英國対スペイン戦争(-1659)
1667年 江戸大火・サンチャゴ、コンセpcion(チリ)大噴火
1668年 クロムウェル死す
1669年 英チャーチル二世即位
1670年 モンテスキューの「法の精神」出
1674年 ブーダ生る(-1682)
1753年 オランダ東印度会社、ジャワ全島を国有
1754年 室蘭港を行き
1755年 夏季涼雨南流、東北地方大震、大饥饉(同)アフリカ航行(中程)・米・印度に対する英荷通商(1763)
1756年 第三回シレジヤ戦争(七年戦争、プロシヤのシレジヤ領)起り(1756)
1757年 隣同居し英・諸にあたる(-1763)
1760年 英、モントリオール占領、佛國を全力で貢供
1762年 英、スペイン戦争、ハヴァナ及びマニラ占領・ルソーの「民約論」出
1763年 バリー伯爵により開港、カナダを範囲に正式開港・英、印度における英荷貿易権確立・フェルケクスブルグ和約成立(プロシヤ、オーストリア、サクソニヤ和す、シレジヤ領民、取締より解放)
1765年 米植民地代表者「自由および自尊の宣言」を採択・英荷戦争、印紙税制を可決(1776廃止)
1768年 ジュームス・クック(英)第一回世界一周に出航(1771に帰港)
1769年 ナポレオン、コルシカに生る
1770年 米植民地商人、ボストンにおいて英軍により虐殺される・ジュームス、クック(英)クック法典及びオーストリア

日本歴史時代年表			
時代	天皇	年号	西紀
原始時代			
氏族時代			
古時代			
代々			
上古時代			
中古時代			
近世			
現代			

時代概説

この年表は、政治・経済・社会および文化の発展から、日本歴史の歩みを一目でわかるようにした。その特徴性がある。

古代 日本の歴史は約10万年前であり、日本人の祖先としての原住民の由来はじめたのは、4,5千年前の新石器時代からで、それより1世紀にわたり、自然物を主とし、農耕を主とする生活がつづいた。

古代 1世紀ごろから7世紀初頭までで、農耕社会が自然物を主とし、その成長、および中世の封建社会からその変遷など

へ統合されて、統一国家日本が出現した。

上代 7世紀初頭から12世紀末までで、統一国家日本は、各個体制をとつて出現したが、やがてその空洞化に入り、勢力としての原住民の由来はじめたのは、4,5千年前の新石器時代からで、それより1世紀にわたり、自然物を主とし、農耕を主とする生活がつづいた。

中世 12世紀末から16世紀末までで、封臣制による國家体制が成立したが、その中権體位は、地頭から守護へ、さらに守護大名へと移行して大領土制が出現し、基礎としての庄園制も村社制に代えられ、その過程には民衆の兵の自衛による士族の登場、農耕から商工の分化、都市の発達、南蛮人の侵入を実験とする外國貿易の大通商などを見た、が質的に異なる

南北朝時代	北	後醍醐天皇	元治1502
南北朝時代	後醍醐天皇	元和1506	文永1506
南北朝時代	後醍醐天皇	元和1615	元和1615
南北朝時代	後醍醐天皇	明正寶永1624	明正寶永1624
南北朝時代	後醍醐天皇	延光明慶永1643	延光明慶永1643
南北朝時代	後醍醐天皇	正保1644	正保1644
南北朝時代	後醍醐天皇	慶安1648	慶安1648
南北朝時代	後醍醐天皇	崇禎1652	崇禎1652
南北朝時代	後醍醐天皇	明暦1655	明暦1655
南北朝時代	後醍醐天皇	寛治1658	寛治1658
南北朝時代	後醍醐天皇	元寛文1661	元寛文1661
南北朝時代	後醍醐天皇	延喜1673	延喜1673
南北朝時代	後醍醐天皇	天和1681	天和1681
南北朝時代	後醍醐天皇	弘和1684	弘和1684
南北朝時代	後醍醐天皇	元和1688	元和1688
南北朝時代	後醍醐天皇	中興門1704	中興門1704
南北朝時代	後醍醐天皇	正徳1711	正徳1711
南北朝時代	後醍醐天皇	保元1716	保元1716
南北朝時代	後醍醐天皇	元和1736	元和1736
南北朝時代	後醍醐天皇	寛保1741	寛保1741
南北朝時代	後醍醐天皇	寛延1748	寛延1748
南北朝時代	後醍醐天皇	元和1764	元和1764
南北朝時代	後醍醐天皇	天和1772	天和1772
南北朝時代	後醍醐天皇	慶元1780	慶元1780
南北朝時代	後醍醐天皇	享和1801	享和1801
南北朝時代	後醍醐天皇	仁和1804	仁和1804
南北朝時代	後醍醐天皇	天保1818	天保1818
南北朝時代	後醍醐天皇	弘化1840	弘化1840
南北朝時代	後醍醐天皇	元治1854	元治1854
南北朝時代	後醍醐天皇	寛政1860	寛政1860
南北朝時代	後醍醐天皇	文久1861	文久1861
南北朝時代	後醍醐天皇	元治1864	元治1864
南北朝時代	後醍醐天皇	明治1865	明治1865
南北朝時代	後醍醐天皇	明治1868	明治1868
南北朝時代	後醍醐天皇	大正1912	大正1912
南北朝時代	後醍醐天皇	昭和1920	昭和1920
南北朝時代	後醍醐天皇	昭和1949	昭和1949

現在は相続大名の統一性の強化につれて現状で、封臣体制を導くとともに、封臣体制も整備されていった。

近世 17世紀初頭から19世紀中頃までで、封臣体制は堅固化され、封君を大導としたが、封臣経済の確立は、その封領性を主張して全国統一の方向に導き、この間に沿うて、町工場・町人・都市など一面の興盛をうながし、經濟もも発達させ、そこに付けてない通商の大通商を見えた半面、貧富の懸隔は新しくいちじるしくなつて、農民一揆・打こわしなどの社會的現象、ならびに官学の學問にたいする儒学・詩道・釋教・道教などの思想的變革も生じて、幕藩体制をゆり動かしついで崩壊させた。

現代 19世紀中期から現在までで、封臣体制が代々され、西歐流の近代的國家体制は、明治維新の結果ともなつて、

近世 17世紀初頭から19世紀中頃までで、封臣体制は堅固化され、封君を大導としたが、封臣経済の確立は、その封領性を主張して全国統一の方向に導き、この間に沿うて、町工場・町人・都市など一面の興盛をうながし、經濟もも発達させ、そこに付けてない通商の大通商を見えた半面、貧富の懸隔は新しくいちじるしくなつて、農民一揆・打こわしなどの社會的現象、ならびに官学の學問にたいする儒学・詩道・釋教・道教などの思想的變革も生じて、幕藩体制をゆり動かしついで崩壊させた。

(東京大学史料編纂所 西尚志之助)

第三回國連総会は1948年9月21日から14日シャイヨウ宮で55ヶ国代表と親の下に開かれた。開幕式はオリガル大統領からの歓迎の言葉で締めくくられた。開幕式ではオーストリア外相ハジメト氏が退出された委員会委員長の選挙には、8名の候補者の中からもスラヴァルダ代行は選出されなかった。

9月21日は前委員長のほか、運賃委員会、国際汽船の機材を開始した。翌日は会場入りの審議が行われたが、9月23日マーシャル大統領は外交政策に関する声明を発表した。これに対するソ連代表ヴィンセント・ペトロ夫婦は外交方針につき質問し、新しい口調で彼女に米露政府の態度を示した後、原子弹の禁止を含む世界の原則的問題を行つた。

ついで27日、マクシム・クリエフは西欧連合にてマーシャル・プランを説明すると、共にソ連での攻撃を拒否するに反対した。

この問題に対立の焦点であるベテラン問題に関するモスクワ文書は打切りとなり、米露両国代表は3月25日、ソ連連邦を含む政府で採択した。

かくて一月半後は20日で終り、西欧連合は分裂の危険に入つたが問題の安全が保証され、一方政治委員会は9月29日から開かれた。

一方政治委員会は9月30日から開かれて、原子弹の禁止、核爆、ナシスチ、ギリシャ、朝鮮、日伊連合問題につき討論を開始した。

西欧連合最高司令部設置

1948年9月27日より開かれた西欧連合議院(英、仏、ベルギー、スイス)の議論で、西欧連合最高司令官が具体化し、その最高司令官は東京に指名された。

クイヨ佛内閣成立

1948年8月28日アンドレ・マリー内閣は成立後1ヶ月、何の実績を示さず辞職、代つてショーマン内閣が成立したが、成立後3日目の9月7日はやくも選舉に敗れ、9月11日クイヨ内閣が成立、首相はモントゴメリー元帥が任命された。

パレスチナにアラブ

臨時政府樹立

アラブ連盟は1948年9月20日トランプ・ヨルダンおよびイラク問題に反対を手がけ、アラブ連合アラブ連合宣立を実現、新首府エードル・ヒルマー・ハシヤを任命した。

ビルマ内閣成立

ビルマ連合は1948年9月13日タキン・メー事務室内閣首相を正式に認定したが、首相は15日就職を完了した。

北鮮人民共和国内閣成立

北朝鮮における人民共和国内閣は1948年9月9日民族人民会議の承認を得て正式に成立した。首相は金日成である。

國家公務員法の改正

國家公務員法の改正は22年9月29日の臨時議院で最後の調整を終り、制定正式決定の上原三郎議長は提出された。このもの六十ヶ条によると公務員制度の現状改善するもので、改正法の核心は次の條文である。

1. 公務員は本筋としての地位と権限とし、その権限を大日本帝國に与えられたと規定され、昭和23年9月15日から60日間、大日本天皇御在位本町8丁目タカヒコ台一帶に本町垂露橋、諫州丸の御殿へ向かうとして開かれ、会場の位置は本町御宿通り門口から中央通りまで御所にはじめとして御宿様式化して、木造櫻井門、外御宿御門、白立屋、赤地屋、御茶屋、科学館、職務室、御宿文化室、御宿車庫、御宿等、第一御室、御宿文化室の御所に開かれた。

9月15日の開幕式は本筋開幕式典として、高知市長、市議会議員、大坂、伊勢崎市長、水谷、高知市長ら名士多数の出席して盛大に行われ、遠近大賀えであつた。

復興大博覽会

昨日新聞社主催「復興大博覽会」は漁業文化の発展と日本の漁業の復興をめざすべき思想の下で昭和23年9月15日から60日間、大日本天皇御在位本町8丁目タカヒコ台一帶に本町垂露橋、諫州丸の御殿へ向かうとして開かれ、会場の位置は本町御宿通り門口から中央通りまで御所にはじめとして御宿様式化して、木造櫻井門、外御宿御門、白立屋、赤地屋、御茶屋、科学館、職務室、御宿文化室、御宿車庫、御宿等、第一御室、御宿文化室の御所に開かれた。

9月15日の開幕式は本筋開幕式典として、高知市長、市議会議員、大坂、伊勢崎市長、水谷、高知市長ら名士多数の出席して盛大に行われ、遠近大賀えであつた。

9月16日午後9時頃、別所半蔵御所を通過したアイオン台風による落雷は開闢一帯に200~400ミリ、風速15~25mの強風となり、御宿車庫が倒壊され、御宿車庫は次の通り(9月18日現地調査本筋)。

死傷者21名、死者40名、死亡者14名、重傷者2,515名、軽傷者912名、御宿半蔵住居6,260、非住居1,381、御宿車庫3,666、床上壁2,614、床下壁44,500、水田流冠水45,760、堤防失冠水7,125、500歩、堤防決壊47、堤防流失破損532、道路陥没516、船橋航失破損71。

【一蘭市の水害】一蘭市内を貫流する源井川は、22年9月18日の水害で決壊したままの堤防が一時にくずれ、一蘭市全町が殆んど全滅、約4,500戸が浸水、死傷者270名、行方不明者27名、負傷者59名、家屋流失979戸、全戸24戸、死傷者28,885名、水田流冠水45,760、堤防失冠水7,125、500歩、堤防決壊47、堤防流失破損71。

【佐世保の水害】9月11、12両日にかけて西日本一帶を襲つた豪雨(降雨量180~300ミリ)の被害は佐世保市が最も大きくなると同時に、同市の高瀬川は12日午前11時過ぎ決壊して、堤防沿いの被害をうけた。

【佐世保の水害】9月11、12両日にかけて西日本一帶を襲つた豪雨(降雨量180~300ミリ)の被害は佐世保市が最も大きくなると同時に、同市の高瀬川は12日午前11時過ぎ決壊して、堤防沿いの被害をうけた。

國鐵第5回大会

國鐵第5回大会は23年9月30日から4日間、金沢で開かれた。本筋は反対に右筋河川系のやま縦貫線が総合多数を占め、現中間を不信任し、新設員を河川で占め、右筋河川系を認めた。中央河川委員会を解散することに決定するなど全く右筋河川系に偏重した。

水泳の新記録

距離 時間 場所 月日
分秒
200m 2,08,4 甲子園 9,12
900m 3,20,8 八幡大谷 9,19
400m 4,38,0 甲子園 9,12
500m 5,58,0 ハリケン 9,12
800m 9,41,0 ハリケン 9,12
△これらも日本水泳連盟の記録は200m水泳500m走者として、500m走者として、800m走者として、途中正式計時として確立

輸出和紙生産並販売

土佐典具帖紙商工業組合

支 部 本 部 理事長 氏 原 進
高知縣吾川郡伊野町三〇五八番 電話二三六番
東京都中央区西銀座七ノ五電話銀座四三六七番
高知市旭町三丁目一二五番地 電話二六七番

株式會社 日本精機製作所
各種捕鯨砲銛

本社 高知市常盤町一五
出張所 大阪市東区高麗橋筋四ノ一〇
電話七二〇・九二三三
電話六四四六

土佐典具帖紙
科學加工紙株式會社

高知市旭町三ノ九四
電話一一一五四三番

門脇木材工業株式會社
高知市小倉町四十五番地

取扱 代
販賣 購
設施 設役
福門山門
森脇下脇
豊岡正定
喜夫美治



17025

毎日新聞概要

「毎日新聞」は東京、大阪、門司（西部）でそれぞれ刊行されているが、昭和18年1月に現在の略号に統一されるまで、東京では「東京毎日新聞」大阪、門司では「大阪毎日新聞」と称した。

【東京】明治5年3月20日創刊の「東京毎日新聞」を継承、現存するむかひ最古の新聞で、同44年大阪毎日新聞の経営下に移り、昭和11年には時事新報を合併した。

【大阪】明治9年2月20日創刊の「大阪日報」に端を発し、同15年2月1日「日本立憲新聞」と改称してから号をかぞえ、同21年1月20日「大阪毎日新聞」と改称するに及んで天下に頭をとどめるに至った。

【西部】「大阪毎日」の別録として大正11年1月1日門司で発行された「西部毎日」を先駆とし、昭和10年2月11日からは中央紙と全く同様のものを刊行している。

役員

【東京】	【大阪】	【西部】
代表取締役 取締役会主席 取締役会外局長 取締役会主幹 取締役会長 常勤監査役	代表取締役 取締役会主席 取締役会外局長 取締役会長 常勤監査役	取締役会主席 取締役会外局長 取締役会長 常勤監査役
神田 五郎 福山 義太郎 藤原 勉治 小林千代 原 駿	平野 太郎 本田 駿男 安部 元喜 坂井辰夫 中島 路文	加茂 駿郎 中井入道藏

定期刊行物

(日刊)	(半月刊)
英 文 每 日 小 学 生 新 聞	世 界 の 動 き 毎 日 グ ラ フ
(週刊)	(月刊)
サ ン デ ー 每 日 ス ポ ー ツ 每 日 点 字 每 日	労 働 評 論 農 政 評 論 ニ エ イ ジ (昭和24年1月創刊)
(旬刊)	(年刊)
エ コ ノ ミ ス ト	毎 日 年 曆

1949年版

毎日年鑑

【定 價 5 5 0 円】

不 計

昭和23年11月1日印刷

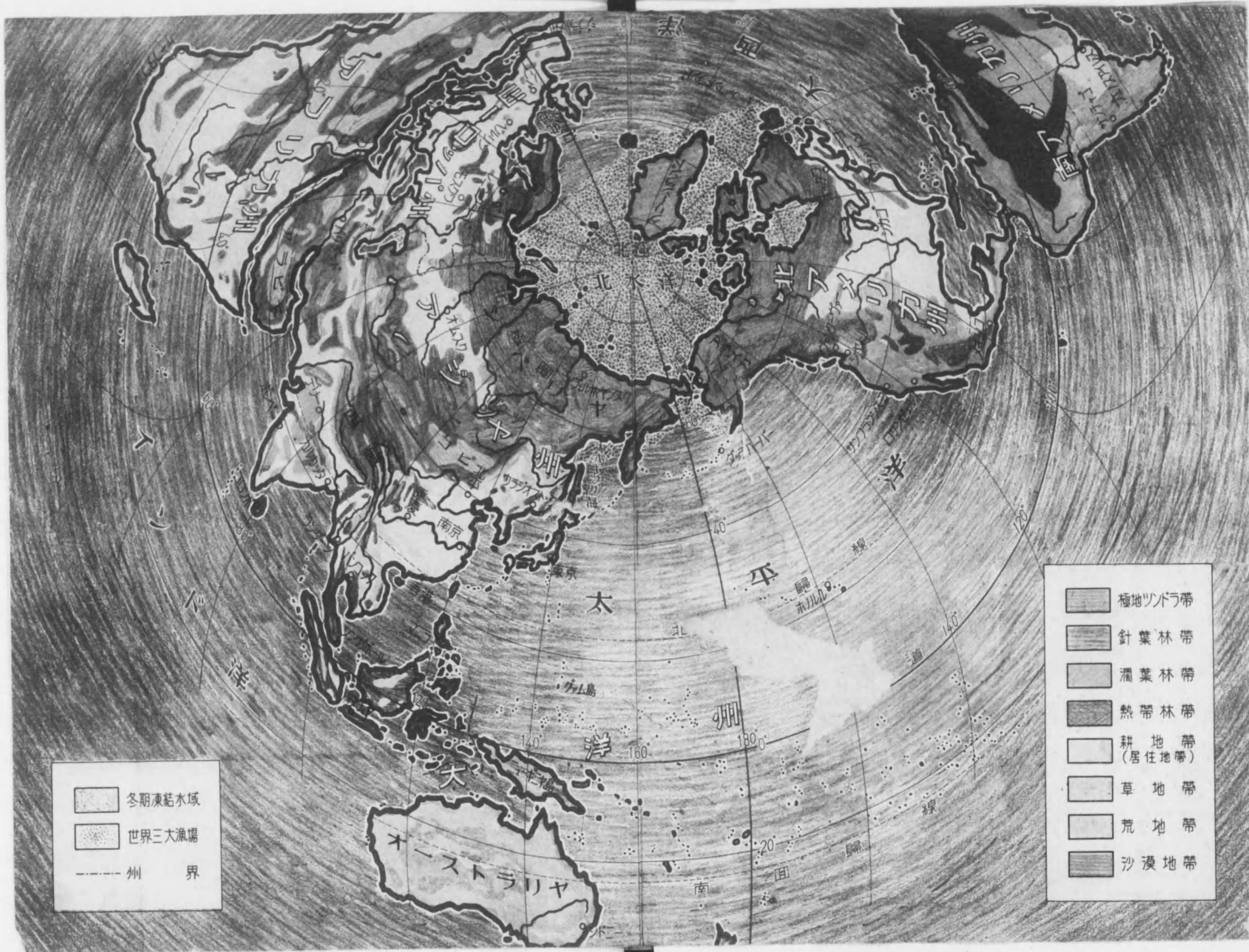
昭和23年12月1日発行

編集人・发行人

尾崎昇

發賣所 配給所	東京都千代田区有樂町1丁目11 大阪市北区堂島上2丁目36 門司市清瀬町1丁目902 東京都千代田区神田町2丁目9	株式會社毎日新聞社 日本出版配給株式會社
------------	--	-------------------------

露光量違いの為重複撮影



露光量違いの為重複撮影



度量衡単位(Ⅰ)

メートル制 メートル(長さ)及びキログラム(重量)を基本単位とする。1790年フランスでメートル法が制定され、子午線の赤道から極までの長さの $\frac{1}{10,000,000}$ を1メートルと決定した。1875年メートル條約締結され、パリにて万国度量衡中央局が設けられ、同時にメートル標器及びキログラム原器を置き、度量衡単位の國際的基礎となつてゐる。日本は1881年同條約に加盟した。

【長さの単位】

1ミクロン= $\frac{1}{1000}$ ミリメートル
1ミリメートル(英)= $\frac{1}{1000}$ メートル
1センチメートル(英)= $\frac{1}{100}$ メートル
1デシメートル(粉)= $\frac{1}{10}$ メートル
1キロメートル(英)=1000メートル

【面積の単位】

1アール=100平方メートル◆ 1ヘクタール=100アール

【体積の単位】

1ミリリットル(英)= $\frac{1}{1000}$ リットル=1立方センチメートル

1リットル(立)=1立方デシメートル

1キロリットル(英)=1000リットル=1立方メートル

【重量の単位】

1ミリグラム(英)= $\frac{1}{1000}$ グラム
1グラム(英)= $\frac{1}{1000}$ キログラム◆ 1キンタル=100キログラム
1グラムトン(英)(又はキロトン)=1000キログラム

フート・ポンド制 (米英式) ヤード(長さ)及びグレイン(重量)を基本単位とする。

【長さの単位】

1マイル(英)=8フアーロング=1760ヤード
1フアーロング=40ポール=220ヤード
1ポール(又はロット)=5.5ヤード
1フート(英)= $\frac{1}{12}$ ヤード

1インチ(英)= $\frac{1}{36}$ ヤード= $\frac{1}{12}$ フィート◆ 1ミル= $\frac{1}{1000}$ インチ

【面積用単位】

1エーカー= $\frac{1}{640}$ マイル=4ポール=100リンク=22ヤード
1リンク=7.02インチ

【面積の単位】

1エーカー=10平方チャイン=80平方ヤード
1セクション=1平方マイル

【体積の単位】

◇容積(米國) 1ガロン=231立方吋
(英國) 1ガロン=277.27立方呎
1ガロン=4クオート=8ペント
1クオート=2ペント◆ 1ペント=4ギル
1ギル= $\frac{1}{25}$ ペント

【重量用(米國)】

1ペント= $\frac{1}{16}$ オンス◆ 1オンス=8ドラム
1ドラム= $\frac{1}{40}$ ミニム◆ 1ミニム= $\frac{1}{480}$ オンス

◇容積(英)】

1オンス= $\frac{1}{16}$ ペイント

◇重量単位】

(米國) 1ブッシュル=2150.42立方呎
(英國) 1ブッシュル=2218.192立方呎

1ブッシュル=4ペツク=8ガロン

1ペツク=2ガロン=8クオート

1ガロン=シオート=8ペイント◆ 1クオート=2ペイント

【重量の単位】

1ボンド(封印)=16オンス=7000グレイン

1オンス=16ドラム= $\frac{1}{16}$ ボンド

1ドラム= $\frac{1}{16}$ ガロン

◇重量単位(金銀銀幣用)】

1銀銀ガンド=144.75常用ボンド=5760グレイン

1銀銀オンス= $\frac{1}{16}$ 銀銀ボンド=480グレイン

◇この社会通用として

1ペニーウエイト= $\frac{1}{16}$ オンス=24グレイン
及び銀銀用として 1ドラム= $\frac{1}{16}$ オンス=60グレイン

1スクラップル= $\frac{1}{3}$ ドラム=20グレイン

◇重り単位用】

1ショートトン(又は米屯)=2000常用ボンド

1ロングトン(又は英屯)=2240常用ボンド

尺貫制 メートル制に基づく ▲ 1尺= $\frac{1}{3}$ メートル▲ 1寸= $\frac{1}{12}$ メートル▲ 1厘= $\frac{1}{100}$ メートル

特 殊 単 位

1バレル(英式ガロン)=159立(主として石油)
=35英式ガロン=8.8升(計量に用いる)

1カラット=0.25(宝石、貴金属等に用いる)

1オンスストローム= $\frac{1}{10,000,000}$ 噸(光の波長等に用いる)

1脚(日本)=185.2米(標準1分の長さ)

1厘(米式)=6096.076=1855.03米

1厘(英式)=6090米=1853.18米

1ノット毎1海の速さ

◇排水量 流量【船舶ノ船級】等における船の排水した水の重量
即ち船の全重量をロング吨又はメートル吨で表わす

◇総吨 総容積を一定の方法で從つて算出した値を表わす

1吨=100立方呎=2.83立方米

◇載貨吨 船から機械船員等を除いた値

◇積荷吨 貨物を積算した容積

1積荷吨(米式)=40立方呎=1.1328立方米

1積荷吨(英式)=42立方呎=1.180立方米

【電気及機械単位】

◇ボルト 電圧の単位、乾電池1個の電圧は約1.5ボルト、日本の電燈線の電圧は100ボルトが標準である

◇アンペア 電流の単位、100ボルトの電燈線で100ワットの電球を点灯したとき1アンペアの電流が流れ、500ワットの電熱器なら5アンペア流れる

◇オーム 抵抗の単位、100ワットの電燈は点火時100オームの抵抗をもち、500ワットの電熱器は20オームの抵抗を持つ

◇ワット 電力の単位 ◇キロワット=1000ワット

◇オルト、アンペア、オーム、ワットの前には次の略号がある
(ボルト)=(アンペア)×(オーム)

(ワット)=(ボルト)×(アンペア)

◇キロワット時 電力量の単位、キロワットに使用時間をつけた値、100ワットの電球を1時間使用するか、又は1キロワットの電熱器を1時間使用すると1キロワット時となる

◇馬力 動力の単位=746キロワット

【熱量単位】
1小カロリー(又はミカロリー) 1升の水を摺氏1度温度を上昇させるに要する熱量、主として理化學上に用いられる

1大カロリー(又はキロカロリー)=1000小カロリー、通常取扱いカロリーといふのは大カロリーである

1キロワット時=864大カロリー

ガス1箱位=10,000大カロリー(ガス1立方米は4,200カロリーの熱量を持つ)

【圧力単位】

1000ミリバールは0°Cにおける水銀柱750.75ミリメートル相当、1気圧=1013.25ミリバール=1.033近/平方メートル=14.70ポンド/平方呎

摺氏、氷の溶融する温度を0度とし、水の沸とうする温度を100度とする

摺氏、32度が摺氏0度に相当し、自寄り1度は摺氏1度の%
(摺氏の温度)=(摺氏の温度-32)×%

A059

Ma31

248.18
3



終

